

## 文化・芸術・デザイン

VUCA(不安定さ・不確実性・複雑性・曖昧性)と言われる現代だからこそ、  
アートによる問題解決力を重要と捉えています。

培ってきた文化・芸術・デザインのノウハウで、それぞれのブランド個性を生かし、  
彩豊かな社会を築いていくために活用していきます。



### 社会への提供価値と事業との関わり

ポーラ・オルビスグループは、文化の支援を行ってきました。  
新しい価値観にシフトしていく時代だからこそ、アートそのものもつインパクトと、問題解決力を通じ個性的なブランドとして、社会を彩るような価値を提供していきます。

認識している社会課題・  
メガトレンド

予測困難の時代  
時代に合わせた幸せの模索と実現

当グループの強み

マルチブランド戦略  
アーティストとのネットワーク

### 目標実績

- アートを活用した新しいブランド体験件数

2029年目標 **20** 件 2020年実績 **14** 件

- リベラルアートワークショップ参加人数

2029年目標 **55** 万人 2020年実績(2018年～)累計 **3,852** 人

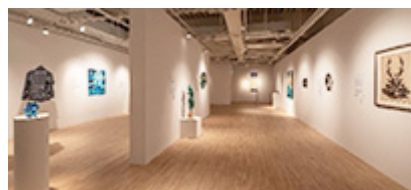
感受性を拓くブランドの形成

ブランド体験を高める



ひとりも取り残すことなく感受性を刺激する

アートと共に





## 感受性を拓くブランドの形成 ブランド体験を高める

### 感受性を拓くブランドの形成にあたって

ポーラ・オルビスグループは、アーティストとの協業が、新たな世界観を創り、ブランド価値を唯一無二の存在に高めることで、より多くの方に興味を持って手に取っていただき、ブランド体験を高めていくと考えています。

### アーティストとの協業に関する目標・実績

#### アートを活用した新しいブランド体験件数

2029年目標	2020年実績
20件	14件

### 感受性を拓くブランドに関する取り組み

#### ポーラ アートの力で、ブランドメッセージを強く発信

2020年に発売した第6世代のポーラ「B.A」シリーズ。第5世代からフラワーアーティスト・東信氏による、植物の本質的な美しさと生命力を感じさせる「B.A」オリジナル作品を採用していましたが、第6世代ではコンセプトに合わせ、「可能性を超える」というテーマのもとレントゲン撮影という手法を提案いただき、緻密な葉脈や蕾に潜む萌芽、実に抱かれる種などの「目に見えない生命美」を、レントゲンというサイエンスの力で表現。お客さまに、目に映る美しさではなくその奥に眠る生命美の本質を捉え、女性に無限の可能性を提案するという「B.A」が伝えたいメッセージを体現しています。



## オルビス ブランドの世界観をコンセプトショップで

2020年7月、東京・表参道エリアにオルビス初の体験特化型施設『SKINCARE LOUNGE BY ORBIS』をオープンしました。

コンセプトは、「自分の肌を知り、本来の力を引き出す体験を」。

知ってほしいのは、商品ではなく、まずはあなた自身のこと。自身の肌状態を理解し、美しさを引き出す正しいスキンケア方法を学びながら、気軽に商品をお試しいただけるようなコンテンツや、ORBISアプリ会員様限定で体験いただける完全予約制のスキンケアトリートメントやワークショップの提供など、さまざまなコンテンツをご用意しています。

Takramディレクター緒方 壽人氏とMMA Inc.の建築家 工藤 桃子氏とともに設計。信頼するパートナーと完成させた空間では、その人らしく、こちよく、自分らしい美しさを引き出す人の日常に寄り添い、あなたらしい自身のこと、あなたの肌のこと、新しい発見をご体感できる空間となっています。



## THREE ファッションブランドとのコラボ

THREEとFIVEISM × THREEが商業施設RAYARD MIYASHITA PARKに、「VISIONARIUM THREE SHIBUYA」を2020年にオープンしました。オープンを記念してHYKE、N.HOOLYWOODとのコラボレーションアイテムを発売しました。コラボレーションのテーマは、“素材への探求”と“ボーダレス”。ジャンルやブランド、ジェンダーを超えたアイテムには、それぞれのこだわりを凝縮しました。「VISIONARIUM THREE SHIBUYA」という場所に、それぞれのブランドのファンが集まって、それぞれのブランドの魅力を知るきっかけにしていきたいと考えています。



## FIVEISM × THREE ダンサーによるコンセプト表現

FIVEISM × THREEは、2020年11月発売のTOUCHING FROM A DISTANCE FUTURE MEMORYに込められたメッセージ「コミュニケーションに言葉はいらない」を発信し、FIVEISMの香りを纏う新しい自己表現を提案するイベント『FUTURE MEMORY LAUNCH EVENT』を実施しました。クリエイティブの展示や、瞑想を行いながら商品の香りに触れられる体験のイベントを行いました。また、ダンサー ATSUSHI氏によるインスタライブを行い、商品コンセプトのおよびブランドが持つ世界観を表現しました。





## ひとりも取り残すことなく感受性を刺激する

### ひとりも取り残すことなく感受性を刺激するにあたって

ポーラ・オルビスグループは、誰もがアートに触れる機会を提供していきたいと考えています。またアートに触れることで、感受性を刺激し新たな着想を得たり、多くの人に豊かな生活のきっかけにしていきます。

### アートワークショップの目標・実績

#### リベラルアートワークショップ参加人数

2029年目標	2020年実績 (2018年～累計)
55万人	3,852人

### 感受性を刺激する取り組み

#### ポーラ・オルビスグループ アートワークショップの実施

感受性、美意識を高めるための具体的な取組みとして、アートを取り入れた人材育成に取組んでいます。アートから感じるものは人それぞれで、正解はありません。「アート・ワークショップ」は「しる、感じとる」をテーマに一人ひとりが自身のものの見方、感じ方を意識し、さらには他者との違いに対する気づきを促すプログラムで、美意識のコンピテンシー開発につなげることを目的としています。研修では絵画鑑賞をしたり、自ら絵を描くことで自分の価値観を見つめ、それについて対話するグループワークを行います。まず、自分の感じたことを言語化してまわりに伝え、次に他の人の考えを聞き、ディスカッションすることで、人によって異なるものの見方や感じ方を共有します。職場では気づきにくい、互いの個性に対する気づきの場を提供しています。



#### ポーラ ミュージアム アネックス 上質なアートを通じてより多くの人に豊かな時間を提供

ポーラ ミュージアム アネックスは、ポーラコレクションから現代アートまで多彩な企画を入場無料で展開し、展覧会を通じて当社グループのオリジナルの価値を国内外のステークホルダーに発信しています。2020年11-12月には当ギャラリー初となるチャリティーオークション「Christmas Smile」展を開催しました。本企画は、当ギャラリーで関わりのあったアーティスト20名(下記参照)に各1点「クリスマス」をテーマにした作品制作を依頼。その作品をサイレントオークション※形式でオンラインにてお客さまより入札いただき、収益の全額を日本赤十字社への寄付を目的に実施しました。たくさんのお客さまからの温かいご支援とご協力により集まった合計9,145,000円は、日本赤十字社における「新型コロナウイルス感染症への対応に関する寄附金」として、寄付しました。今後もこのような取組みを通して皆さまに笑顔や豊かな時間をお届けしたいと考えています。

※入札形式のみのオークションで、競りは行わず入札された方の中で最高額をつけた方が落札者となるオークション形式です。

#### 出展作家

青木美歌、イイノナホ、今井昌代、今城純、開発好明、柏原由佳、菊池敏正、館鼻則孝、田中圭介、東芋、津上みゆき、中村弘峰、野口哲哉、ヒグチユウコ、福井利佐、増田セバスチャン、水野里奈、ミヤケマイ、Ryu Itadani、渡辺おさむ(五十音順)

